



H.Yamanaka

THE EPSOM CUP

第42回 エプソムカップ (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 43,000,000円 17,000,000円 11,000,000円 6,500,000円 4,300,000円
付加賞 651,000円 186,000円 93,000円



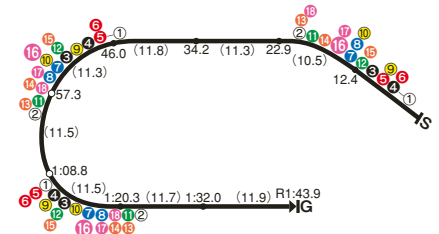
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 57⁺、牝馬2⁺減、2024.5.4以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3⁺増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2⁺増、牝馬限定GⅡ競走またはGⅢ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1⁺増、2024.5.3以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2⁺増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1⁺増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.5.10 東京 曇・稍重 芝1800m (国際) (特例)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑩	セイウンハーデス	牡 6	57	幸 英明	R1:43.9	6-8-8	34.3	482(-6)	13.2⑩	橋口慎介(栗東)	111
2	④	ドゥラドーレス	牡 6	57	C.ルメール	1%	16-15-14	34.1	502(±0)	3.7①	宮田敬介(美浦)	107
3	⑧	トーセンリョウ	牡 6	57	団野大成	1½	16-16-16	35.1	462(±0)	28.9⑧	加藤征弘(美浦)	104
4	⑨	クルセイロドスル	牡 5	57	横山武史	アタマ	8-6-6	35.0	496(-6)	6.9④	高橋義忠(栗東)	104
5	⑦	コントラポスト	牡 5	57	田辺裕信	クビ	8-8-8	34.9	474(+2)	18.3⑥	菊沢隆徳(美浦)	
6	⑩	ダノンエアズロック	牡 4	57	D.レーン	1¼	6-6-6	35.3	498(-2)	5.5②	堀 宣行(美浦)	
7	⑫	ディープモンスター	牡 7	57	M.ディー	クビ	11-11-11	34.8	470(+6)	16.0⑦	池江泰寿(栗東)	
8	③	エヒト	牡 8	57	古川吉洋	1¾	13-11-11	35.1	464(-2)	161.9⑨	森 秀行(栗東)	
9	⑭	デビットパローズ	騾 6	57	岩田望来	½	5-4-4	35.9	504(-2)	7.1⑤	上村洋行(栗東)	
10	⑮	カラテ	牡 9	57	杉原誠人	½	11-11-11	35.3	542(±0)	109.6③	東田明士(栗東)	
11	⑪	トップナイフ	牡 5	57	横山和生	¾	4-3-2	36.3	492(-4)	38.2⑪	昆 貴(栗東)	
12	⑤	コレベティートル	騾 5	57	柴田裕一	¾	14-16-16	35.2	468(-10)	385.0⑫	中竹和也(栗東)	
13	②	シュトラウス	牡 4	57	北村宏司	クビ	2-1-1	36.7	524(±0)	5.7③	武井 亮(美浦)	
14	①	キョウエイブリッサ	牡 5	57	津村明秀	クビ	18-18-16	35.2	492(+4)	60.8⑫	武市康男(美浦)	
15	⑨	ラケマーダ	牡 5	57	鮫島克駿	3½	14-14-14	36.1	502(+6)	188.3⑫	千田輝彦(栗東)	
16	⑮	ジュンテイク	牡 4	59	藤岡佑介	¾	8-8-10	36.5	488(-8)	24.6⑩	武 英智(栗東)	
17	⑮	ピーアストニシンド	牡 6	58	西村太一	5	2-4-4	37.9	476(±0)	387.2⑫	堀内岳志(美浦)	
18	⑮	メイショウチタン	牡 8	57	吉田 豊	3½	1-2-2	38.8	482(+8)	110.1⑫	本田 優(栗東)	

単勝⑩1,320円(6⁺※) 複勝⑩350円(6⁺※) ④160円(1⁺※) ⑥500円(9⁺※) 枠連②-⑧770円(1⁺※)
馬連④-⑩2,420円(9⁺※) ワイド④-⑩940円(6⁺※) ⑥-⑩3,660円(43⁺※) ④-⑥1,520円(16⁺※)
馬単⑩-④5,660円(21⁺※) 3連複④-⑥-⑩15,830円(57⁺※) 3連単⑩-④-⑥70,460円(242⁺※)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
34.2 - 46.0 - 57.3 46.6 - 35.1

アラカルト

- ・幸英明騎手はエプソムC初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算49勝目
- ・橋口慎介調教師はエプソムC初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算6勝目
- ・シルバーステート産駒はJRA重賞通算6勝目
- ・6歳馬の勝利は20年ダイワキャグニーに続く通算3勝目
- ・勝ちタイム1:43.9はコースレコードおよびレースレコード
- ・非当選馬 1頭(レガトゥス)
- ・非抽選馬 4頭(オニャンコポン、グランスラムアスク、シルトホルン、トゥデイズザデイ)

セイウンハーデス *Seiun Hades*

牡 黒鹿毛 2019.4.8生
北海道浦河町 鮫川啓一氏生産
馬主・西山茂行氏 栗東・橋口慎介厩舎
馬名意味・冠名+ギリシャ神話の冥府の神

フロリスカツブG8系 F3-I

シルバーステート 青鹿毛 2013	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	シルヴァースカヤUSA 黒鹿毛 2001	Silver Hawk Boubaskaia
ハイノリッジ 鹿毛 2011	マンハッタンカフェ 青鹿毛 1998	サンデーサイレンスUSA サトルチェンジIRE
	ゴールドグレース 鹿毛 2002	エリシオFR グレースウーマン

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M3

Hail to Reason S5×S5×M5 Nijinsky S5×M5

INTERVIEW

鮫川啓一氏(生産者)

我々の想像を超える能力を持った馬です

状態は良さそうに見えましたが、屈腱炎で長期休養していた馬なので少し不安な気持ちもありました。しかし、府中の長い直線を上ってくる姿やレコード勝ちのパフォーマンスには驚かされ、レース後、関係者の方々と「我々の想像を超える能力を持った馬」だと話していました。無事であればあと数年の現役生活も、いい方向に進んでいってくれることを願っています。

S.Suzuki



3歳時にプリンシパルSを勝ち、ダービーにも出走し着いた本馬は翌年の七夕賞で重賞初制覇。しかしさらなる飛躍を期待された矢先、屈腱炎を発症し、1年5カ月の休養を余儀なくされた。復帰初戦のチャレンジCは5着、続く京都記念も8着に敗れたものの、この日は休養前を上回るパフォーマンスを披露。稍重馬場でコースレコードを塗り替える快走劇を演じ、中距離界の頂点を狙う存在に躍り出た。

わけ目を引いたのがセイウンハーデスの脚勢だった。幸騎手の仕掛けに鋭く反応、残り200m地点で先頭に立つとたちまちリードを広げて確勝態勢を築き、ドウラードレスの反撃も寄せ付けずにゴールを駆け抜けた。

宝塚記念の日程繰り上げにともない、中距離重賞の開催時期や条件が見直された今年、1984年の創設以降、原則的に6月に行われてきたエプソムCは5月に移設され、出走資格も従来の「3歳以上」から「4歳以上」に改められた。新装初年度のレースで、2着を占めたのは、脚部不安による長期休養を乗り越えて戦列に戻ってきた2頭の6歳馬。このうち、2年前の七夕賞の覇者セイウンハーデスが1番人気に支持された菊花賞の4着馬ドウラードレスを従え、重賞2勝目を挙げた。前走の白富士Sで久しぶりの勝利を飾った2年前の東京スポーツ杯2歳Sの覇者シントラウスが、外から意欲的に飛び出してきたメイショウウチタンを抑えて先手を奪取。とはいえ、闘志に火がついてしまった同馬は、午前中に降った雨の影響が残るソフトな馬場(稍重)に速いラップを刻んで逃げる。東京コースでリステッドを2勝、2番人気の支持を集めたダノンエアズロックは中団馬群の外につけ、セイウンハーデスの幸英明騎手はその内を迫走。ドウラードレスは後方4番手で脚を溜め、仕掛けのタイミングを窺った。ハイペースで飛ばしたシントラウスは直線に向くともうひと踏ん張り、後続を突き放して押し切りを狙ったが、坂の上りで力尽きて急激に失速。一斉に襲い掛かった各馬のなかでも、とりわけ目を引いたのがセイウンハーデスの脚勢だった。幸騎手の仕掛けに鋭く反応、残り200m地点で先頭に立つとたちまちリードを広げて確勝態勢を築き、ドウラードレスの反撃も寄せ付けずにゴールを駆け抜けた。

父シルバーステート

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央5戦4勝(垂水S、オーストラリアトロフィー、紫菊賞)、18年から供用

〔代表産駒〕**エエヤン**(ニュージーランドトロフィー^{GII})、**セイウンハーデス**(本馬)、**ウォーターナビラ**(ファンタジーS^{GIII}、桜花賞^{G1}2着、阪神ジュベナイルフィリーズ^{G1}3着)、**ランスオブカオス**(チャールズタウンズC^{GIII}、朝日杯フューチュリティS^{G1}3着)、**リカンカプール**(中山金杯^{GIII})、**ショウナンシット**(札幌日経オープン・L、若葉S・L)、**バトルボーン**(メトロポリタンS・L)、**ラヴァンダ**(フローラS^{GIII}2着)、**コムストックロード**(葵S^{GIII}2着)

母ハイノリッジ

北海道浦河町 鮫川啓一氏生産 中央4戦0勝、地方7戦2勝

タイガーアチーブ(16 牡父クロフネUSA)中央10戦1勝、地方71戦13勝(名
| 港盃2着、東海菊花賞3着)

ペイシャノリッジ(17 牝父クロフネUSA)中央19戦3勝(駒場特別)

セイウンノウヒメ(18 牝父トウザグロリー)中央21戦1勝

セイウンハーデス 本馬(19 牡父シルバーステート)中央14戦5勝(エプソム
| C^{GIII}、七夕賞^{GIII}、プリンシパルS・L、競馬法100周年記念、新潟大賞
典^{GIII}2着) 獲得総賞金174,035,000円

ブルファム(20 牝父イスラポニータ)中央2戦0勝、地方14戦3勝

ゲーベル(21 牡父ミッキーアイル)中央6戦0勝、地方5戦4勝 ㊟

ヤマメキング(22 牡父ドレフォンUSA)中央6戦2勝 ㊟

ニシノサリーナ(23 牝父シルバーステート)

(24 流産)

祖母ゴールドグレース

北海道浦河町 鮫川啓一氏生産 中央0勝、地方5勝(北関東弥生賞3着)

ヒルノマドリッド(09 牡父マンハッタンカフェ)中央4勝(摩耶S、駒場特別、
| 本木内特別)、障害2勝、地方2勝

トシファイブスター(10 牡父フジキセキ)中央1勝、地方4勝

ハイノリッジ(11 前出)

セイウンゴールド(18 牡父エビファネイア)中央1勝、地方0勝

セイウンプラチナ(19 牡父ミッキーアイル)中央4勝(ドウラメンテC、白河
特別、あやめ賞)㊟

曾祖母グレースウーマン

北海道浦河町 鮫川三千男氏生産 中央0勝。08年用途変更、ホッコータキオン(野路菊S^{Op}、デイリ一杯2歳S^{Ju}II 2着)の祖母

コースレコードを塗り替える快走劇